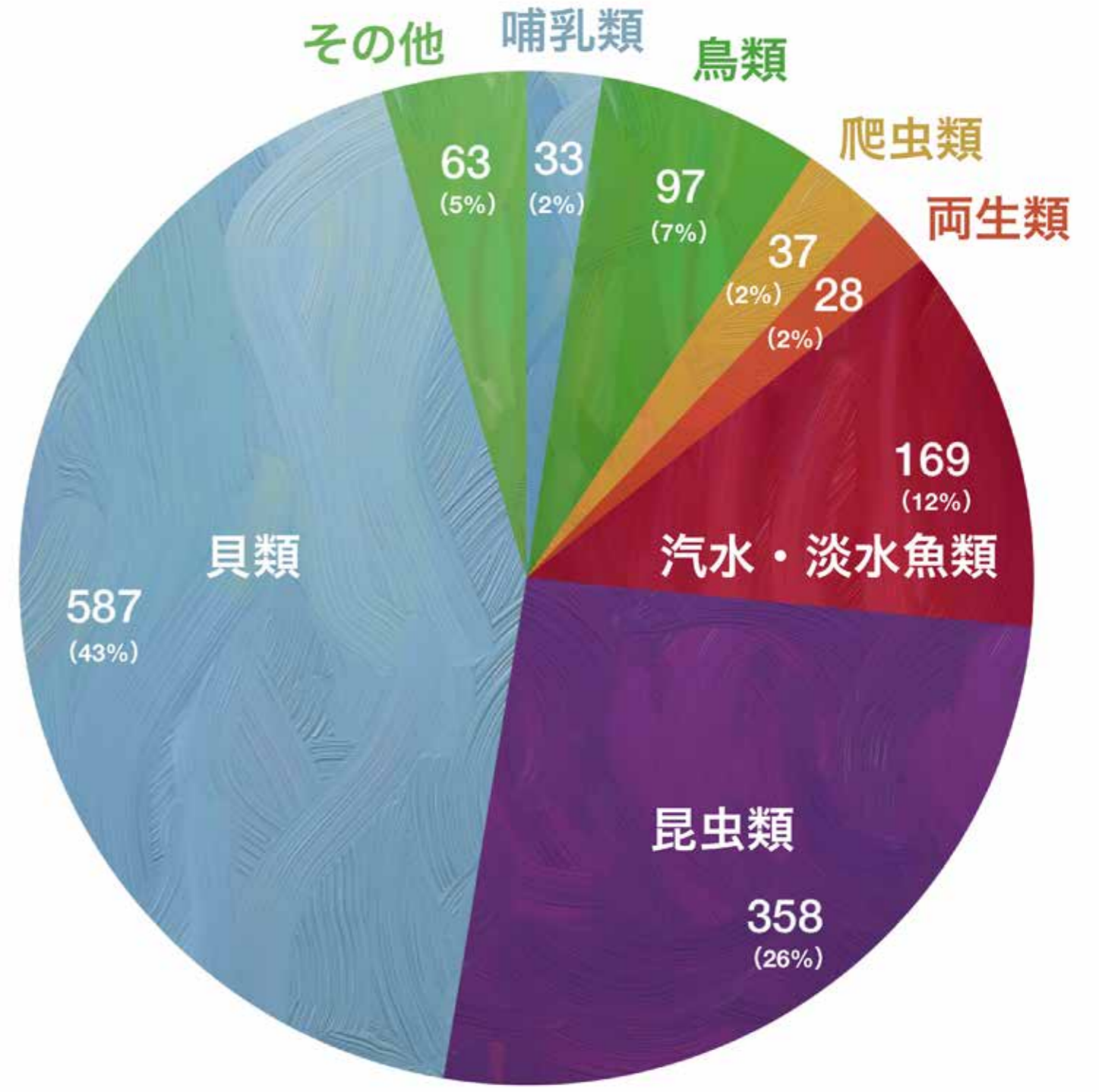


日本の絶滅危惧種

「絶滅危惧種」とは絶滅の危機にある動植物のことです。環境省は絶滅危惧種をレッドリストというリストにまとめていて定期的に公開しています。日本では現在動物1,372種、植物2,262種が絶滅危惧種として登録されています。

引用：環境省レッドリスト2017



絶滅危惧種は絶滅の危険度に応じて、I類・II類と大きく2つの段階があり、危険度の高いI類は、さらに2つの段階に分けられます。

分類	絶滅危惧II類 (VU)	絶滅危惧I類 (CR+EN)	
		絶滅危惧IB類(EN)	絶滅危惧IA類(CR)
内容	絶滅の危険が増大している種	IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
哺乳類	9	12	12
鳥類	43	31	23
爬虫類	24	9	4
両生類	13	12	3
汽水・淡水魚類	44	54	71
昆虫類	185	105	68
貝類	323	7	13
具体例	 ホトケドジョウ  アマミノクロウサ	 シオマネキ  オオワシ	 コウノトリ